

KIKUCHI PROJECTION SCREEN

電動巻上型スクリーン（CGE） ケース仕様 取り扱い設置説明書

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や、損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

安全上 ご注意

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



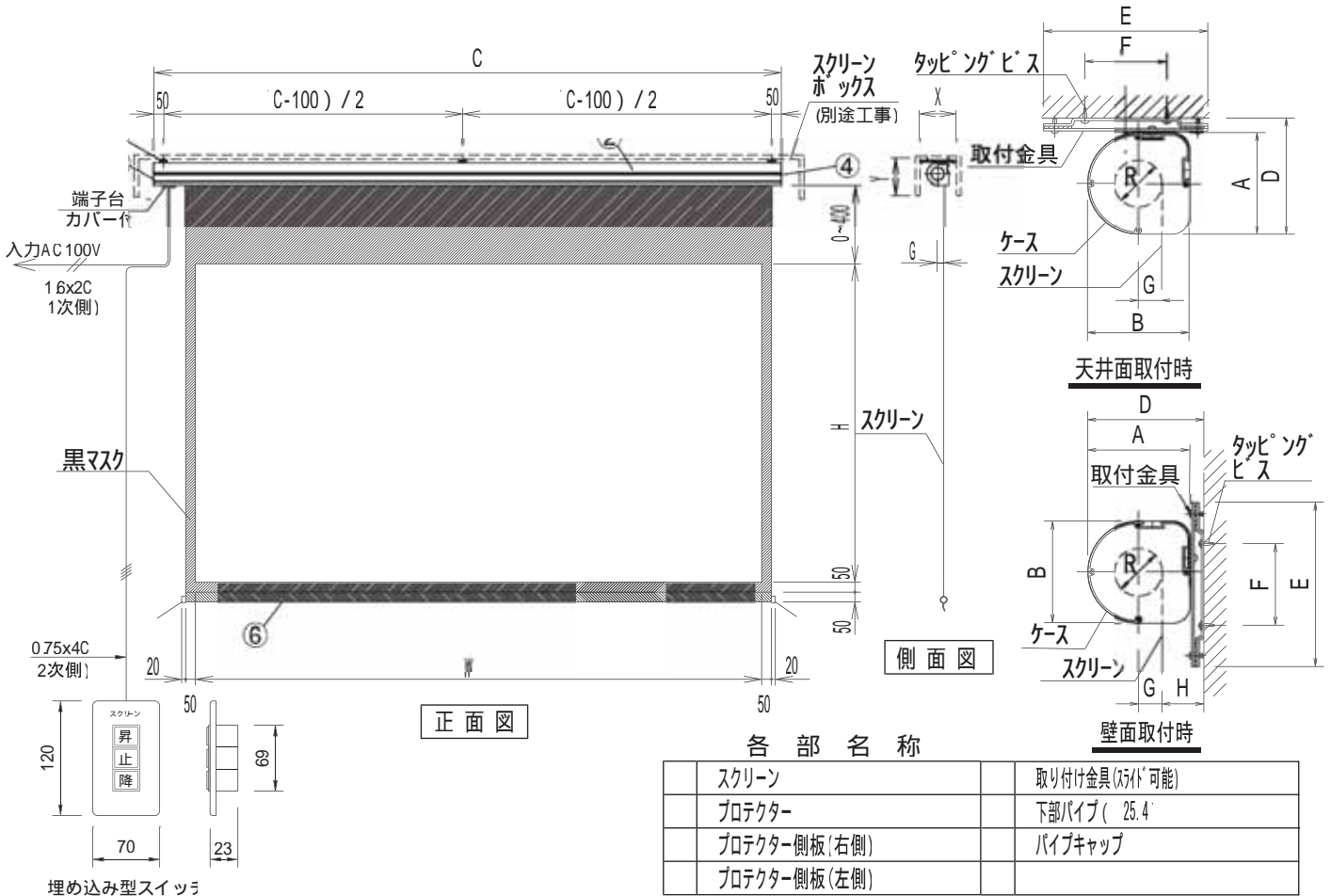
このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

取扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

各部の名称と寸法



各部名称	
スクリーン	取り付け金具(スライド可能)
プロテクター	下部パイプ(25.4)
プロテクター側板(右側)	パイプキャップ
プロテクター側板(左側)	

スクリーン規格一覧表

NTSCタイプ 4 : 3

型番	スクリーンサイズ		外形寸法				D (mm)	E (mm)	F (mm)	G (mm)	H (mm)	R (mm)	モーター出力 AC100V	ボックス寸法			重量 (Kg)
	ピッチ	ホワイトマット	W (mm)	H (mm)	A (mm)	B (mm)								C (mm)	X (mm)	Y (mm)	
CGE-150G	CGE-150W	3048	2286	114	114	3328	127	180	106	34	37	68	25W	200	200	3500	21.4
CGE-170G	CGE-170W	3454	2591	114	114	3734								200	200	3900	

HDタイプ 16 : 9

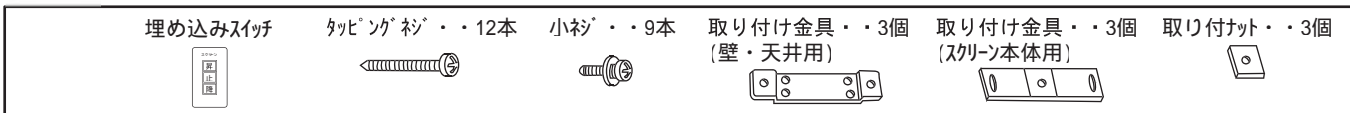
型番	スクリーンサイズ		外形寸法				D (mm)	E (mm)	F (mm)	G (mm)	H (mm)	R (mm)	モーター出力 AC100V	ボックス寸法			重量 (Kg)
	ピッチ	ホワイトマット	W (mm)	H (mm)	A (mm)	B (mm)								C (mm)	X (mm)	Y (mm)	
CGE-150HDG	CGE-150HDW	3320	1868	114	114	3600	127	180	106	34	37	68	25W	200	200	3700	21.7

製品の仕様及びデザインは改良等のため予告なく変更する場合があります。

付属品

下記の設置用部品が付属しています。

警告 下記設置部品以外での取り付けはおやめください。取り付け等の不備による脱落の恐れがあります。



結線の方法

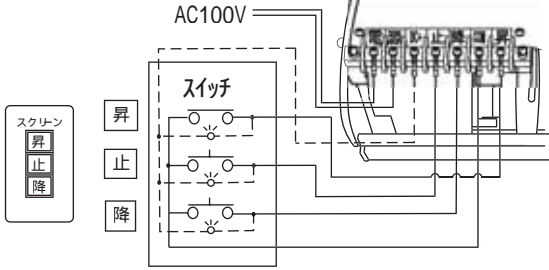
端子台目かくしカバーをはずし電源線、操作線を結線する。

- ※ 必ず電源線を切って作業してください。
- 電源線は1.6mm×2(入力AC100V)で、配管線工事は別途です。
- 操作線は0.75mm×4cで、配管線工事は別途です。

スイッチを結線して所定の場所に取り付ける。

- ※ スwitchは埋め込みで、壁埋め込みボックスは別途です。

- 点灯式スイッチをお使いになる場合は、DC+をご使用ください。(別途)
- 最後に結線が正しく行われているか(他の線と触れていないか等)確認しカバーを取り付けて、電源を入れてください。



スクリーン取り付け方法



警告

スクリーンを設置する壁や天井が石こうボードや、パーティクルボードなどの場合は、少なくとも200Kgの重量を支えられる下地が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。

注意

天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。

壁取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。



禁止

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・ALCアンカーによる吊り下げ
- ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工



禁止

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・下地補強無し施工

合板の天井または壁に設置する場合



注意

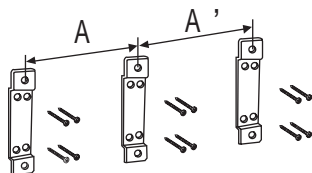
合板は、少なくとも20mmの厚さが必要となります。

1

取り付け金具の設置

例：壁面取り付けの場合
(壁・天井用)

取り付け金具(壁・天井用)
3本を平行度を出し、付属の
タッピングネジでしっかり固
定する。

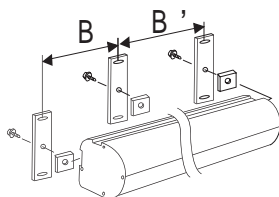


$$A=A'=(C-100)/2$$

2

取り付け金具の設置 (スクリーン本体)

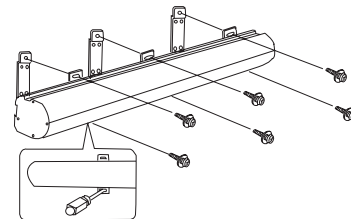
スクリーンケースの取り付け用溝
に取り付けナットを入れる。取り
付けプレートと取り付けナットを、
先に取り付けた取り付けブラケット
のピッチに合わせて(AとB、A'と
B'が同じ寸法に)付属のM6ビス
で確実に締めつける。



3

スクリーンの固定

スクリーン側金具の長穴から、壁
面金具に設けられた穴にM5のピ
スにてしっかり固定する。

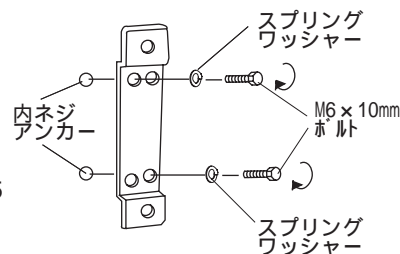
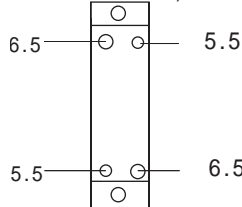


コンクリートの天井または壁に設置する場合

取り付ける場所にコンクリート用アンカー
(日本ヒルティHKD-SR、内ネジアンカーM6×25
穿孔 8mm×深さ27mm)を打ち込みします。
取り付け金具1枚につき2ヶ所。取り付け用
ボルトM6×10mmとスプリングワッシャーはお
客様の方でご用意ください。

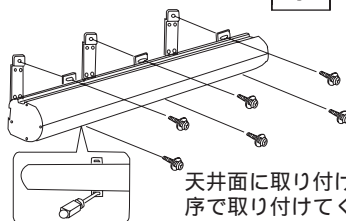
M6×10mmボルト×6個、スプリングワッシャー×6枚

取り付け金具 (壁・天井用)



スクリーンの固定

スクリーン側金具の長穴から、壁
面金具に設けられた穴にM5のピ
スにてしっかり固定する。



天井面に取り付ける場合も同じ順
序で取り付けてください。

ご使用方法

スイッチはパルス式ノンロックスイッチを使用しています。スイッチを一度押せばスクリーンの内臓リレーが作動してあらかじめ設定した停止位置まで自動的に動き、停止します。

降)スクリーンを使用するとき

スクリーンが自動的に降下して設定された停止位置で停止します。

昇)スクリーンを収納するとき

スクリーンが自動的に上昇して収納され停止します。

止)非常停止の必要があるとき

スクリーンを直ちに停止するとき。また、作動中のスクリーンを任意の位置で停止させるとき。



スクリーン停止位置の変更（リミッター調整）

スクリーンの上部黒マスク巾（有効画面上部より金属ケース間）は約400mmに設定されていますが（工場出荷時）、スクリーンケースに内蔵されているリミッターにより御希望の位置に変更する事が出来ます。

スクリーンを下げたい場合 下図参照

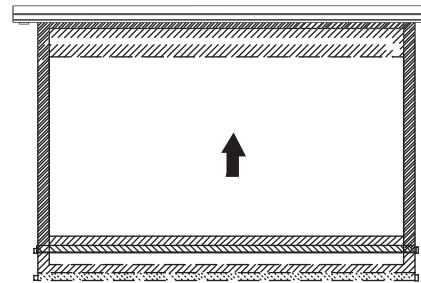
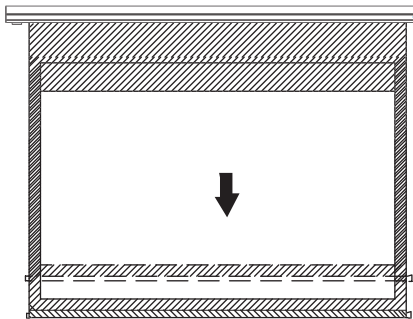
1. スイッチをDOWNに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
2. スイッチはDOWNに入れたままにします。
3. 調整ボリューム白色を反時計廻り（+表示側）へ六角レンチ又は、小さいドライバー等でまわします。
ボリュームを一回転するとスクリーンは約2.5mmピッチで下がります。
4. 御希望の位置になるまで続けて下さい。

スクリーン位置を上げたい場合 下図参照

1. 調整ボリューム白色を時計廻り（無表示側）に2～3回、まわします。（一回転で約2.5mm上がります。
2. スイッチをUPにし、スクリーンを30～40cm上げます。
3. スイッチをDOWNにし、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
4. 調整ボリューム白色を、反時計廻り（+表示側）にまわすと一回転でスクリーンは約2.5mmピッチで下がります。
5. ご希望の位置になるまで続けて下さい。

スクリーンが下がり過ぎた場合

スクリーン位置を上げたい場合を参照下さい。

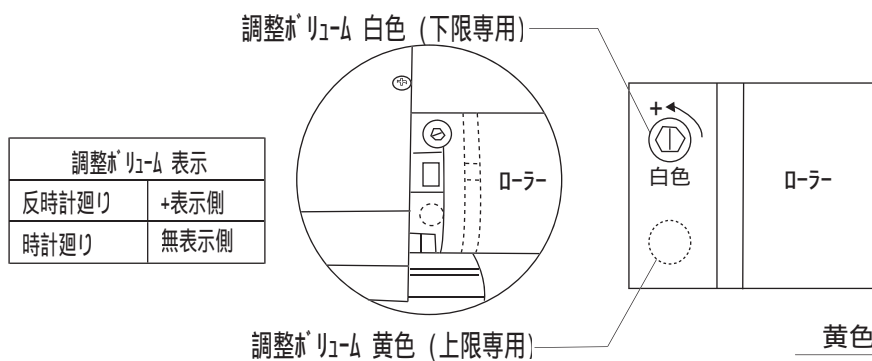


調整ボリューム黄色は、UPリミッター調整用です。工場出荷時に調整してあるので触れないでください。

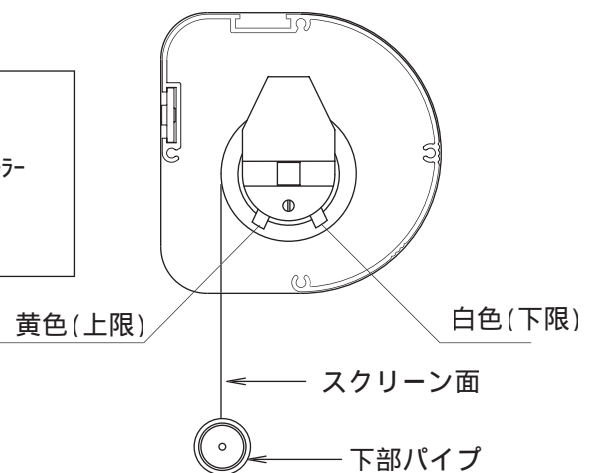


4分以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが働きモーターは停止します。暫く放置すると（15～20分）、サーマルスイッチが解除になり操作可能になります。故障ではありません。

左底面部（下から見た図）



左側面部



通常の設定時は特に調整しないでください。
下部パイプがケースに喰い込んでしまいます。

KIKUCHI SCIENCE.LAB 2004.8.CGE.NW

KIKUCHI
KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC

株式会社 キクチ科学研究所

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35

TEL.(03)3952-5131(代) FAX.(03)3953-0051

⚠ 注意

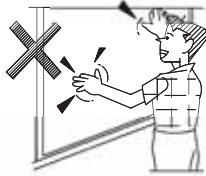
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして、丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

スクリーン面に手をふれないでください。



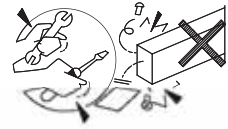
禁止



ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



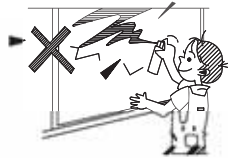
分解禁止



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



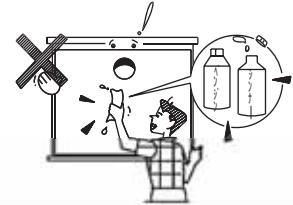
禁止



- 水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



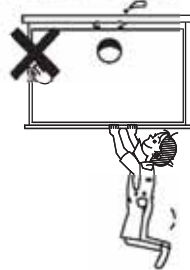
禁止



ケースやスクリーンにぶらさがったり、掲示物をかけたりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。



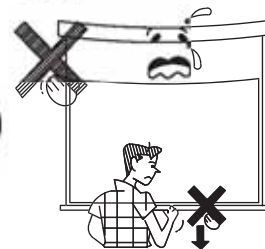
警告



スクリーンを無理に引き上げないでください。本体または、スクリーンが脱落する恐れがあります。



禁止

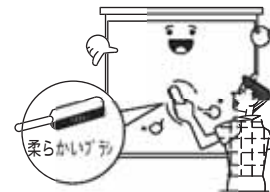


お手入れのしかた

ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



置き場所・保管についてのご注意

直射日光の当たる場所、ホコリや湿気が多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。